

# 魚津市村木公民館

## ◆事業の目的

自分たちの周りの身近なものにはあまり関心がなく、知らない事が多い。昨年度制作した「郷土かるた」をもとに地域を散策したり、身近にあるもので学習や体験をすることにより、地域の自然、歴史、文化、産業等に興味をもてるようになる。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月2日(土)	「郷土かるた」散策 地区外	片貝川上流	36名
7月16日(土)	親子で竹の箸作り	村木公民館	29名
10月15日(土)	「郷土かるた」散策 地区内	村木地区	43名
2月18日(土)	地元で獲れる魚の勉強	漁協会館	

## ◆事業の様子

### ☆「郷土かるた」散策 ～地区外～

市山間部の片貝川上流を散策する。龍を抱えた大きな岩の蛇石を見て、それにまつわる伝説を聞いた。樹齢500年以上の洞杉群を歩き、自然の偉大さに圧倒された。また、片貝川第二発電所を見学し、水力発電について学んだ。



### ☆ 親子で竹の箸作り

不用になった竹で箸を作った。切出しナイフで竹を削りサンドペーパーをかけて仕上げた。箸のおおまかな形にするまでが大変な作業で、大人の手をかりた。切出しナイフを使うのが初めての子もいたが、一昨年「竹とんぼ作り」をし、経験のある子は上手にナイフを使っていた。



### ☆ 「郷土かるた」散策 ～地区内～

地域の住民と一緒に埋没林、たてもん収蔵庫、大泉寺、魚津神社を見学した。「郷土かるた」に詠まれている、知っているようで知らない地元を歩いて学習し、地域の再発見ができた。



## ◆事業の成果と課題

身近な大自然の中で、生命力や神秘を肌で感じる事ができた。今まで知らなかった地域のことを知ることができたが、子ども達は地区内のことにはあまり興味を示さない。魅力のある方法を考えながら、これからも地道に学習したり、体験してふるさとの素晴らしさを再発見していきたい。